

田口新城線の利用しやすい運賃体系への見直しについて

【背景】

- ・ 現行の対キロ区間制の運賃が高額であり、Sバスやおでかけ北設等を利用する沿線住民との負担額に大きな格差がある。
- ・ 乗継ぎ利用者にとってもわかりづらい運賃体系となっている。

【現状】

田口新城線 田口～新城市民病院 1, 250円（参考：別紙運賃表2のとおり）

新城市Sバス 1乗車200円～400円

おでかけ北設 1乗車100円～500円

【見直し案】

田口新城線に

田口新城線沿線地区住民と新城市のSバス及び北設楽郡のおでかけ北設運行地域の住民との運賃負担格差を是正するとともに、官民連携による運賃割引サービス等の利用促進策に活かしやすい運賃とするため、ゾーン制運賃を適用する。（詳細は別紙運賃表のとおり）

ゾーン制運賃設定（案）

新城循環区間（※）		大海駅	
A 200円		C 200円	D 200円
A B 300円			
	B 200円		
もつくる新城北		本長篠駅前	滝上
設楽町役場			
700円			

※新城循環区間

新城富永、旧新城東高校、宗高東、新城有教館高校、新城中学校、新城文化会館、新城市役所、新城市民病院、栄町・新城駅口、中町、新城郵便局、新城警察署、上平井、消防防災センターの区間

考え方・参考

Aゾーン・Bゾーン

- ・ Sバス東郷線（北部線）は、新城循環区間から大海駅前まで200円
- ・ JR飯田線は、新城と大海の区間、本長篠と三河東郷の区間が210円
- ・ JR飯田線は、新城と本長篠の区間が240円
- ・ 豊川市は、東西ゾーン区間は各200円、またぎ利用は300円

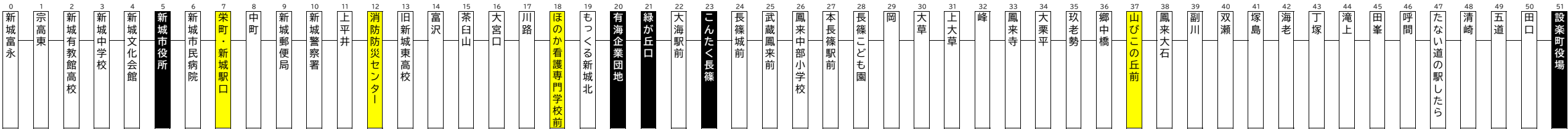
Cゾーン

- ・ 長篠山吉田線、秋葉七滝線、湯谷温泉もつくる新城線は本長篠駅前まで200円
- ・ 本長篠駅前には、鳳来地区のバスの起点となっている

Dゾーン

- ・ 三都橋豊邦線は、田峯と田口の区間が200円
- ・ 新城市内における設楽町の最寄りバス停は滝上バス停

【参考資料】田口新城線 新運賃（検討案）



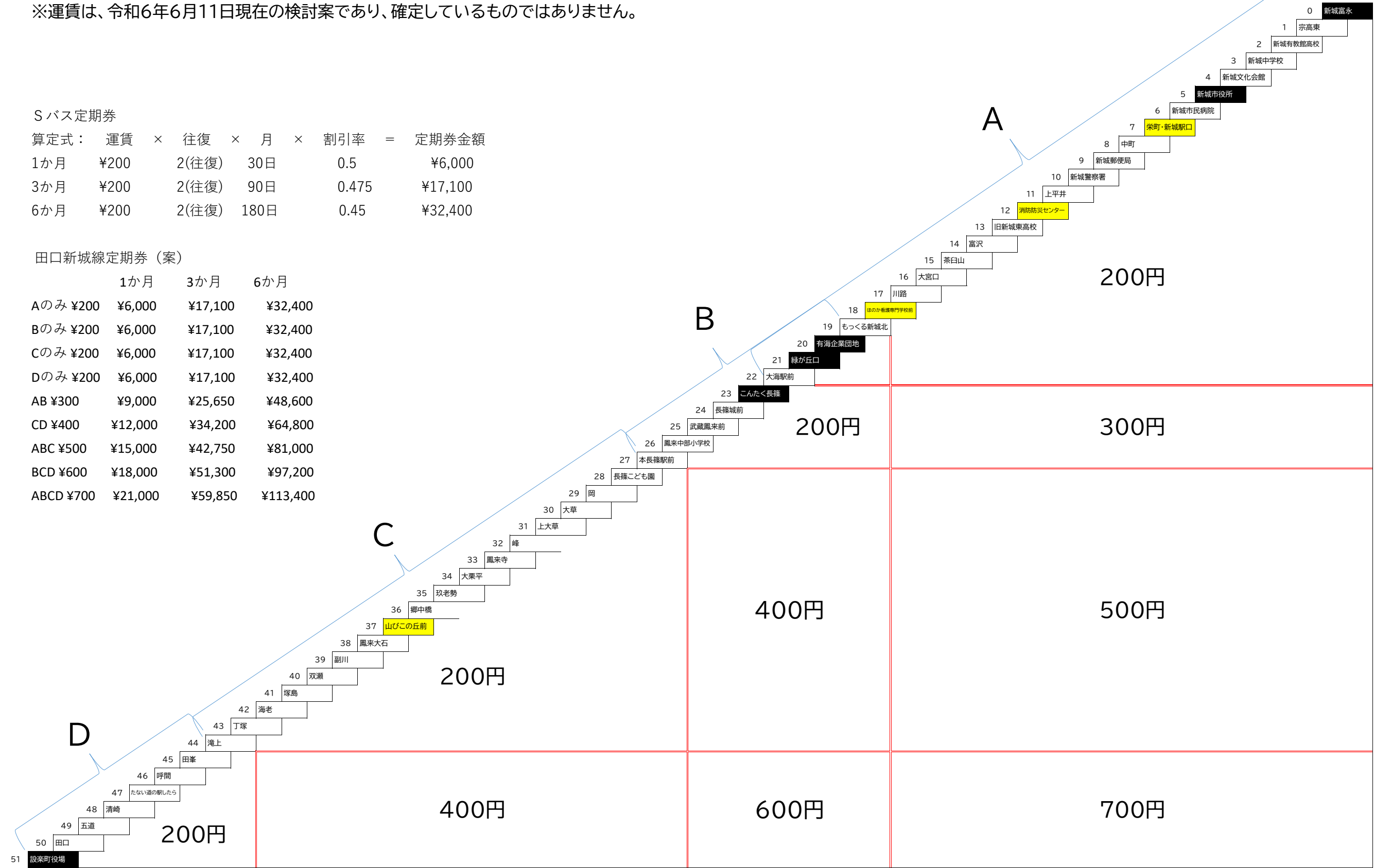
※運賃は、令和6年6月11日現在の検討案であり、確定しているものではありません。

S バス定期券

算定式：	運賃	×	往復	×	月	×	割引率	=	定期券金額
1か月	¥200		2(往復)		30日		0.5		¥6,000
3か月	¥200		2(往復)		90日		0.475		¥17,100
6か月	¥200		2(往復)		180日		0.45		¥32,400

田口新城線定期券（案）

	1か月	3か月	6か月
Aのみ ¥200	¥6,000	¥17,100	¥32,400
Bのみ ¥200	¥6,000	¥17,100	¥32,400
Cのみ ¥200	¥6,000	¥17,100	¥32,400
Dのみ ¥200	¥6,000	¥17,100	¥32,400
AB ¥300	¥9,000	¥25,650	¥48,600
CD ¥400	¥12,000	¥34,200	¥64,800
ABC ¥500	¥15,000	¥42,750	¥81,000
BCD ¥600	¥18,000	¥51,300	¥97,200
ABCD ¥700	¥21,000	¥59,850	¥113,400



【参考資料】 田口新城線 新運賃（検討案）

[illegible]

【参考資料】 田口新城線 新運賃（検討案）

[illegible]

田口新城線の運賃体系の見直し案に係る公聴会結果

田口新城線の運賃体系の見直しについて、新城市及びおでかけ北設ホームページにより意見募集を行った。

実施期間

令和6年5月24日金曜日から6月21日金曜日まで

意見の提出方法

いずれも意見書（様式任意）に住所、氏名を記入の上、新城市及び設楽町、東栄町、豊根村各担当部署への持参、または、郵送、FAX、メールにて受付
電話や窓口での口頭での意見は受付はせず、意見に対する回答は行わない

【結果】

件数 1件

受付日	提出方法	居住地	内容
5月30日	メール	豊川市	いつもお世話になります 豊川市・豊橋市・田原市にはそれぞれ1日乗車券があるので田口新城線にも1日乗車券があれば利用しやすくなる